平成20年度 001 一般会計 (簡略番号 046799)

7号補正

歳出予算事業概要書

平成20年 8月22日 11時56分 作成

1頁

作 成 者:財政課 5

| 明 22 小学校費 | 款 | 10 教育費 | 補正前の額 | 補正後の額 | 各 課 要求額 | ≐田あり士田安西 | | | | 所属課コード 5502000000 | | | | |
|--|---|------------------------|--------|----------|------------|----------------|------------|------------|---|-------------------|--|--|-----------|--|
| 日 0 2 教育振展費 | 項 | | 開工用が設 | | | 前登紀未領 | うち復活額 | 一般財源 | | | | | | |
| 大事業 | 目 | | 0 | 440 | 440 | | | | | | | | | |
| 中事業 00 | 大事業 | | 0 | 449 | 449 | 449 | 0 | 0 | 実 | 部 | | | | |
| 事業の概要と必要性 19 | 中事業 | 00 | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | 章 | | | → 実施計画計上額 | |
| # 1 事業 例 # 本年度の財産の投資性 | 小事業 | 00 | 財源内訳 | 0 | 449 | 0 | 0 | 0 | | 節 | | | | |
| # 業概要 本市では、1 九まで英語指導即手(ALT)を小学校にも配置し、総合的な学習の時間や特別活動の学習の中で英語活動や個度解解教育に取り組んできた。そのような中、新らこととなった。それにより、本市においても、拠点校を中心に研究を進め、その研究成果を共享業の必要性 中枢20年度の今天全実施で向けての本層が多がれる。 事業の必要性 事業の必要性 事業の過去で 特別語活動が必修化したことに伴い、平成23年度の完全実施 内の音学校に適元していくことが必要である。 2 12 役務費 25 日12 役務費 25 日2 | 細事業 | 0 | | | | 0 | 0 | | 画 | 細節 | | | | |
| 本市市では、これまで英語指導的手(ALT)を小学校にも配置し、総合的な学習の時間や特別活動の学習の中で英語活動や自翻定理教育に取り組んできた。そのような中、新学習指導要領の仪正に伴い、平成23年度から小学校において外国語活動が完全実施されることとなった。それにより、本市においても、観点校を中心に研究を進め、その研究成果を共有するなど、平成23年度の完全実施に向けての準備が急がれる。 事業の必要性・小学校学習指題要等領の改正で外国語活動が必修化したことに伴い、平成23年度の完全実施に向けての準備が急がれる。 2 根拠法を、分別を対象的指導力向上、学校間の限例をや時間数のばらつきの解消を図るため、 2 根拠法を、今 小学校学習指導要領 平成20年3月(文部科学省) 3 用地の状況 4 基本計画との関連 5 本年度の計画効果 - 英語活動に関する国及び場の拠点校からの情報提供、英語指導助手(ALT)の配置及び、小学校開設に関する国及び場の拠点校からの情報提供、英語指導の表でい学校英語活動ではある場合では対し、一般に表で表で表し、根点校とかの情報提供、英語指導の表でい学校、一定により、拠点校における教員の指導力や向上を図ることができる。 ・ 根点校を表はした研修会とした研修会の関係等により、拠点校における取組の集を音及に努める。これにより、学校間の取組内容のばらつきを解消することができる。 | 1.事業(| D概要と必要性 | | | | | | | | | | | | |
| 特別活動の学習の中で英語活動や国際理解教育に取り組んできた。そのような中、新学習 指導要領の改正作件、平成公理度の全業施に向けて砂集前が急い情報であること となった。それにより、本市においても、拠点校を中心に研究を建め、その研究成果を共 有するなと、平成公理度の全業施に向けて砂集前が急い情報の設立につきの解消を図るため、 拠点校での成果を市内の各学校に還元していくことが必要である。 2 . 根機法令 3 . 用地の状況 4 . 基本計画との関連 5 . 本年度の計画効果 事業効果 事業効果 ・英語活動に関する国及び帰の拠点校からの情報提供、英語指導助手(ALT)の配置及び 効果的な活用を支援する等、拠点校(米子市立加茂小学校)の取組の支援を行う。これ により、拠点校にあける教員の指導力の向上を図ることができる。 ・拠点校を会議とした研修会をの呼びかけか中が中、特別支持や英語科担当教員及び小学 校英語活動担当教育の連結協議会の開催等により、拠点校における敬雄成果の普及に努 める。これにより、学校間の取組内容のばらうきを解消することができる。 | | | | | _ | | .分 | | | | | | | |
| 5 . 本年度の計画効果 事業効果 ・英語活動に関する国及び県の拠点校からの情報提供、英語指導助手(ALT)の配置及び 効果的な活用を支援する等、拠点校(米子市立加茂小学校)の取組の支援を行う。これ により、拠点校に対する教員の指導力の向上を図ることができる。 ・ 拠点校を会場とした研修会の呼びかけや市内中・特別支援学校英語科担当教員及び小学 校英語活動担当教員の連絡協議会の開催等により、拠点校における取組成果の普及に努 める。これにより、学校間の取組内容のばらつきを解消することができる。 6 . 財源の説明 財源の説明 財源の説明 財源の説明 財源の説明 財源の説明 を全額県委託金 | 特別活動の学習の中で英語活動や国際理解教育に取り組んできた。そのような中、新学習 指導要領の改正に伴い、平成23年度から小学校において外国語活動が完全実施されること となった。それにより、本市においても、拠点校を中心に研究を進め、その研究成果を共 有するなど、平成23年度の完全実施に向けての準備が急がれる。 事業の必要性 小学校学習指導要領の改正で外国語活動が必修化したことに伴い、平成23年度の完全実 施にむけて教員の指導力向上、学校間の取組内容や時間数のばらつきの解消を図るため、 拠点校での成果を市内の各学校に還元していくことが必要である。 2 . 根拠法令 小学校学習指導要領 平成20年3月(文部科学省) | | | | | 9 旅費 11 需用費 | | 137 227 | | | | | 449 | |
| 事業効果 ・英語活動に関する国及び県の拠点校からの情報提供、英語指導助手(ALT)の配置及び 効果的な活用を支援する等、拠点校(米子市立加茂小学校)の取組の支援を行う。これ により、拠点校における教員の指導力の向上を図ることができる。 ・拠点校を会場とした研修会の呼びかけや市内中・特別支援学校英語科担当教員及び小学校英語活動担当教員の連絡協議会の開催等。 める。これにより、学校間の取組内容のばらつきを解消することができる。 6 財源の説明 全額県委託金 目的別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的別 | 事業効果 ・英語活動に関する国及び県の拠点校からの情報提供、英語指導助手(ALT)の配置及び 効果的な活用を支援する等、拠点校(米子市立加茂小学校)の取組の支援を行う。これ により、拠点校における教員の指導力の向上を図ることができる。 ・拠点校を会場とした研修会の呼びかけや市内中・特別支援学校英語科担当教員及び小学 校英語活動担当教員の連絡協議会の開催等により、拠点校における取組成果の普及に努 | | | | | 6 . 財源の | 説明 | | | | | | | |
| 性質別 | 目的別 | -れにより、字校間の取組内谷のはらつさを解. | 用することか | ී | | | E 金 | | | | | | | |